

「生涯活躍のまち」構想全国事例を基に

全ての住民に居場所と役割がある まちづくりに向けて

平成31年1月25日

HIT一般社団法人北海道総合研究調査会 理事長

五十嵐 智嘉子

本日の内容

1. 「生涯活躍のまち」のイメージ
2. 「生涯活躍のまち」全国の実事例
3. 「生涯活躍のまち」を推進する背景
4. 江別市のコミュニティづくりの一環としての「生涯活躍のまち」のあり方検討

「生涯活躍のまち」イメージ

- 地方創生の観点から、中高年齢者が希望に応じて地方や「まちなか」に移り住み、地域の多世代の住民と交流しながら、健康でアクティブな生活を送り、必要に応じて医療・介護を受けることができる地域づくりを目指す。

移住希望者

希望に応じた住み替え支援



移住相談窓口など

移住・
住み替え



空き家の改修、
サ高住の整備など

- 大都市から地方への移住や、地域内で「まちなか」への住み替え等。
- 移住希望者のニーズを踏まえたきめ細やかなコーディネート。

健康でアクティブな生活の実現



就労・起業支援など



生涯学習、
リカレント教育など

- 健康づくりや就労・生涯学習など社会的活動への参加等により、健康でアクティブな生活を目指す。
- 中高年齢期の早目の住み替えで地域での活躍を期待。

地域の多世代の住民との協働



多世代交流センター、
地域サロンなど

大学等との連携など

- 入居者間の交流のみならず、地域の若者等多世代と交流ができる環境を実現。大学等との連携も。

官民連携の取組



- 自治体に加え、移住支援やまちづくりを行う事業者、医療・福祉サービス事業者、地域住民などの参画により、多様な意見が適切に反映されたまちづくりを推進するとともに、持続可能なサービスを提供。

地域包括ケアシステムとの連携



生活支援・介護予防
健康管理・健康づくり

- 入居者と地元住民へのサービスが一体的に提供される環境を整備。

「継続的なケア」の確保



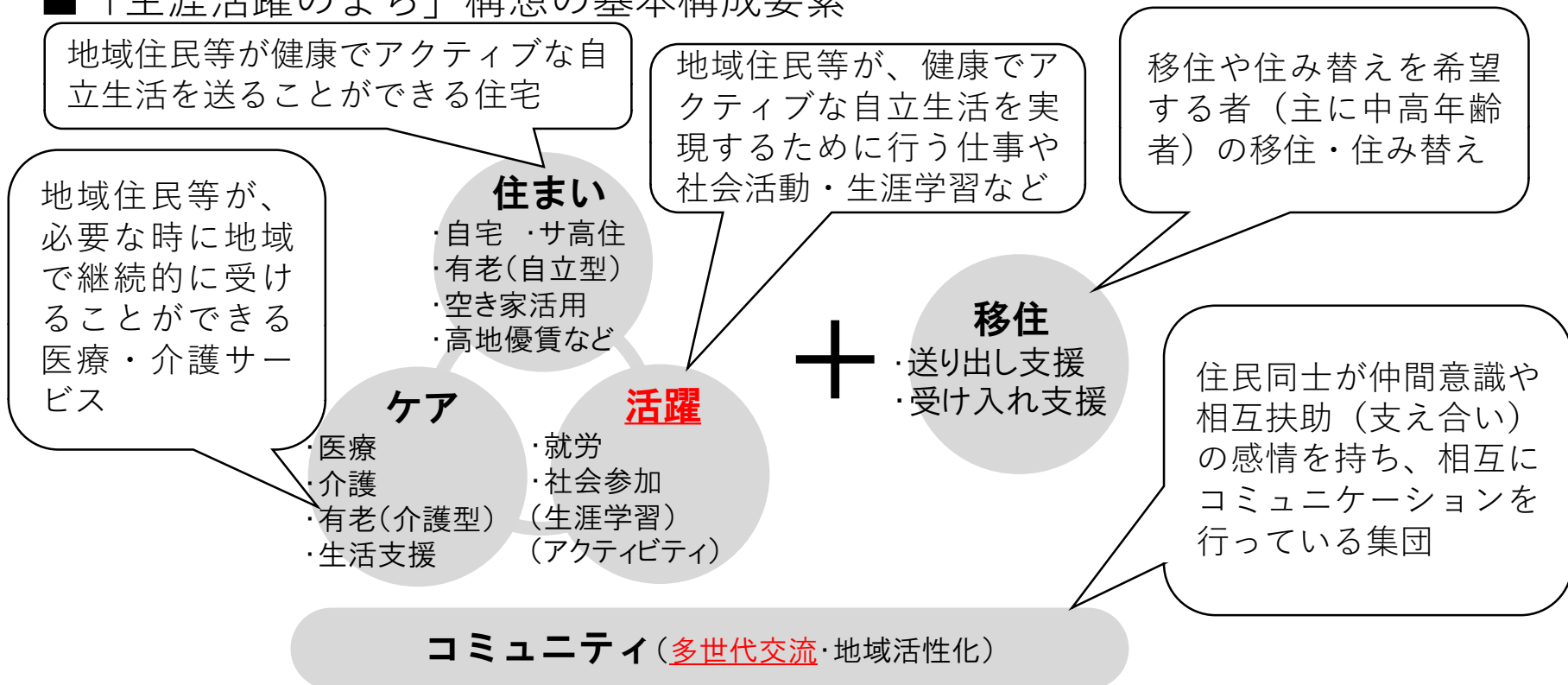
医療・介護サービス

- 医療介護が必要となった時に、人生の最終段階まで尊厳ある生活が送れる体制を確保。

生涯活躍のまちの基本構成要素

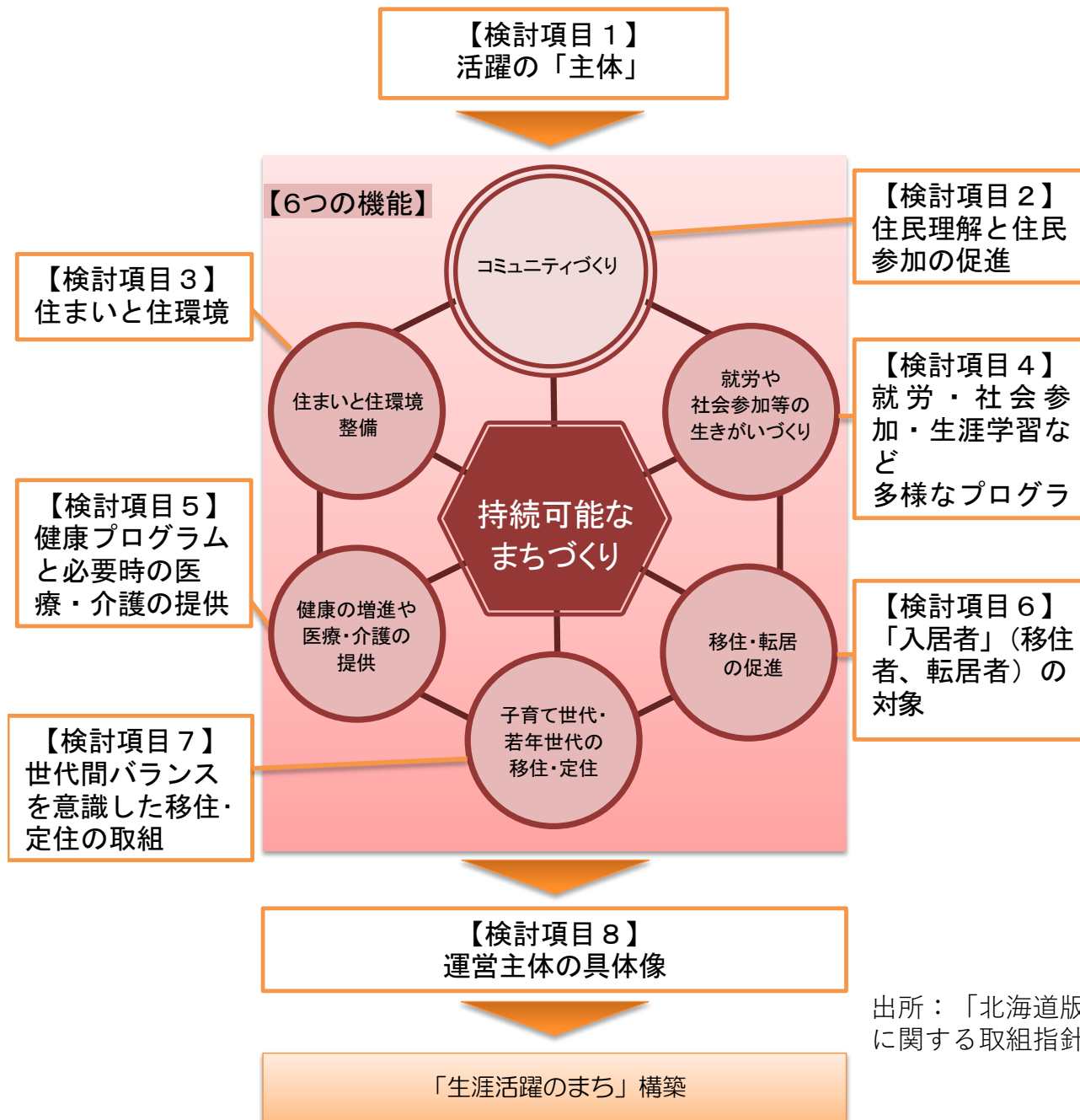
- 「生涯活躍のまち」構想の基本構成要素は、「住まい」、「ケア」、「活躍」を核に、「移住」を加えた「3 + 1」の要素、および、これを下支えする重要要素である「コミュニティ」（多世代交流、地域活性化）を加えた5要素としている。

■ 「生涯活躍のまち」構想の基本構成要素



※地域住民等：地域住民や移住者（主に中高年齢者）

北海道における「生涯活躍のまち」に求められる機能



出所：「北海道版『生涯活躍のまち』に関する取組指針」（平成29年3月）

石川県金沢市の取組事例（シェア金沢（日本版CCRC））

〔取組の概要〕

- ・社会福祉法人である佛子園が運営する、高齢者も大学生も障害のある人も、分け隔てなく共生できる**多世代「ごちゃまぜ」のまちづくり**。高齢者が売店業務をしたり、学生がボランティア活動をしたりするなど、主体性をもって地域社会づくりに参加。
- ・サービス付き高齢者向け住宅、児童入所施設、学生向け住宅など、**多世代が共生できる居住環境**が整備され、また、天然温泉、レストランや売店、文化施設、運動施設といった**「地域コミュニティ」、「働く場」も一体的に整備**されている。
- ・ケアが必要になった場合には、**併設事業所等から介護等のサービスを受けることができる**。

◎シェア金沢の全体像（総面積：約11,000坪）

- （赤枠）：サービス付き高齢者向け住宅
- （緑枠）：障害児入所施設
- （青枠）：学生向け住宅



〔施設の概要〕

- ・天然温泉や飲食店、全天候グラウンド、ギャラリーなど、多様な施設を整備。
- ・高齢者住宅は全32戸。菜園も楽しむことも可能。
- ・学生向け住宅は8戸（うち2戸はアトリエ付き）。月30時間のボランティア活動を条件に、安価な家賃で入居が可能。
- ・高齢者デイサービス、訪問介護、障害児入所等の事業所も併設。



「ごちゃまぜ」の理念の原点～西園寺

- ・（社福）佛子園は地域で親しまれるも廃寺となった「西園寺（小松市）」を地域住民の交流拠点として再生。
- ・町内住民は無料で利用可能な天然温泉や、本堂にはカフェや売店を設置。高齢者・障害者の福祉拠点（介護・就労等）機能も備え、住民の協力のもと、清掃、カフェ運営、特産品づくり等に従事。



サービス付き高齢者向け住宅（平屋戸建て）



本館レストランから街並みを望む



美大学生向け住宅
(トレーラーハウス
とアトリエ)



一般学生向け住宅



サービス付き高齢者向け住宅（2階建て）



温泉施設—地域住民も利用、居住者は無料



クリーニング店（障がい者の雇用の場にもなっている）



入居者も起業できる（キッチンスタジオ
やボディケアなど）



カフェ・バー（昼間はサッカー
少年が遊んでいた）



シェア金沢の空間デザインを
手がけた会社も入居

シェア金沢で暮らし活躍する人々



◆コンセプト:「自然とアートの『生涯“総”活躍のまち』

- ①転入者の増加による、人口維持
- ②新しい産業や仕事の創出による町経済の活性化と、町に必要な人材の移住と町民力を合わせて町の総合力の向上を図る
- ③第2のチャレンジ世代等の地方移住の希望を実現する

<特徴> ・町ぐるみで「タウン型」「多世代共生型」生涯活躍のまちを目指す
 ・地域再生推進法人を活用した官民連携の取組



基礎データ

- ・人口：5,903人（H30.10月1日時点）
- ・H27.10 地方版総合戦略を策定、H28.8 地域再生計画（生涯活躍のまち形成事業関係）認定
- ・地方創生加速化交付金（H28.3）、地方創生推進交付金（H28.第1回）、地方創生拠点整備交付金（H29.第1回）を活用し、マ各種調査、基本計画策定、「しごとコンビニ」等まちの人事部事業、ナギフト制度事業、アートのある暮らし事業などを実施。
- ・地域再生推進法人：「一般社団法人ナギカラ」（H28.1指定）

(1) 活躍の場の創出

- 【主な取組内容】
- ワークシェアリングや就労・起業支援、後継者育成支援
 - 「地産外商センター」による農産物・加工品等の販売促進
 - 地域資源を活かした自然体験や一流のアートプログラムの実施
 - ボランティア活動等を促進するためのインセンティブ付与

- 【進捗状況】
- 「まちの人事部」による就労・キャリアアップ支援、「しごとコンビニ」に加え、テレワークも開始し、プチ起業の実績も。
 - 町民の地域活動、健康づくり、教育・子育て、町内経済循環を促すため「ナギフトポイント制度」の実施（H30.4～）
 - Instagramを活用した自然体験プログラムや、カンヌ国際映画祭受賞監督の監修による映画鑑賞プログラム（在日仏大使館後援）、江戸時代から続く横仙歌舞伎の振興

(2) 高齢者向け住宅等の整備

- 【主な取組内容】
- 空き家の流動化・活用の推進
 - 分譲・賃貸など多様な居住地区整備
 - 暮らしたくなる情報提供とサポート

- 【進捗状況】
- 空き家の利活用モデル事業を試験実施。H30以降、空き家や町有財産を活用したお試し住宅の整備・多世代共生型の居住エリア・施設の整備を順次進める予定
 - サイトによる暮らし情報提供（H30.3～）

(3) 保健医療サービス、福祉サービスの提供体制の確保

- 【主な取組内容】
- 地域包括ケアシステムの充実・強化、人材育成システムの構築
 - 中心部への移動サービスの提供
 - 高齢男性特有の課題解決に向けたプログラム実施および学術研究
 - 演劇的手法を取り入れた介護、若い、認知症への取組

- 【進捗状況】
- 地域包括ケアに関わる専門職・町民・アーティスト等の人材育成プログラムの開発
 - 高齢男性自らが、男性に多く見られる課題の解決に取り組む「ちよいワルじいさん」プロジェクトの学術研究への展開
 - 演劇的手法を取り入れて介護、若い、認知症への理解を深め、対応策を探る「若いと演劇のワークショップ」等の開催

(4) 移住を希望する者の来訪及び滞在の促進

- 【主な取組内容】
- “タウンプライド”に基づく移住プロモーション活動
 - 観光DMOと連携した来町の推進
 - 一元的な窓口の設置・運営

- 【進捗状況】
- 東京に相談窓口を設置してPR活動を実施
 - 各種体験ツアー開催、特徴的取組等にフォーカスした各種プロモーション活動の展開
 - 地域再生推進法人サイト等による情報発信



ナギカラ 「ちょいワルじいさんプロジェクト」



奈義町を元気にする
ちょいワルじいさん、集まれ!

第1回作戦会議
平成29年1月18日(水)
14:00~15:30
奈義町社会福祉協議会 会議室

すべての男性が最期の最期まで「ワル」さできるように、
「ワル」知恵を出し合ってくれる、ちょい「ワル」じいさんを募集します!

高齢の男性は女性に比べて、介護や支援を要する状態になったとき、デイサービスなどの介護・予防サービスの利用を好まず、閉じこもりがちになる方が多いと言われています。こういった高齢男性特有の課題解決に向けて、自分事として取り組んでいただける有志を募集します。みなさんの手で奈義町を年老いても輝ける町にしましょう!

対象：概ね65～80歳くらいの男性（10名程度）
内容：月に1回程度会合を開き、課題の解決に向けた取り組みを行います。

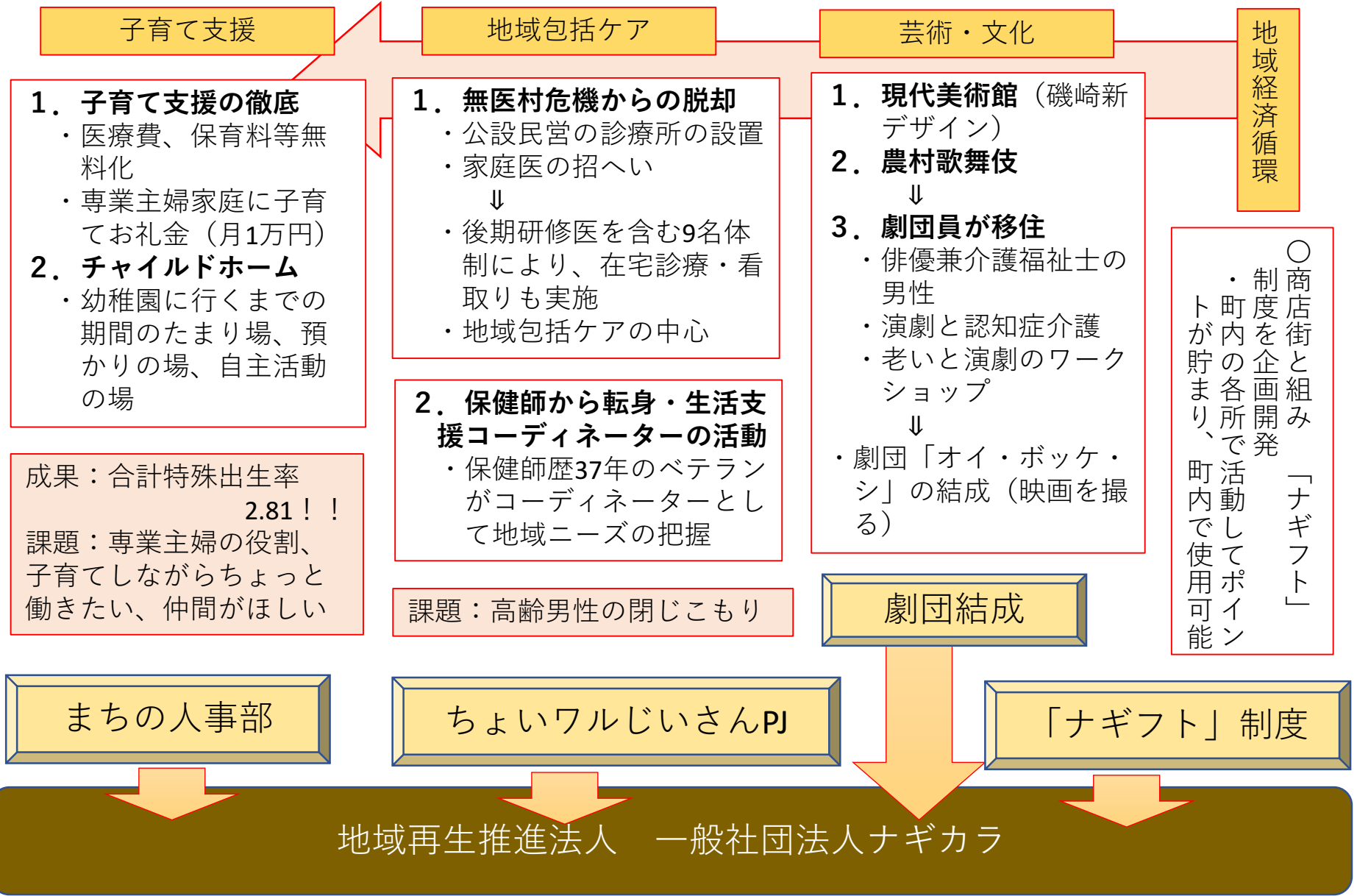


ナギカラ 「しごととスタンド」

- 「好きな時に働く」（女性が・短時間で・できる）→ 「好きなことを仕事にする」
- 仕事の研修約1週間。18カ月で、登録150人、売上2,000万円を達成。
- 「株はたらこらぼ」（岡山市内）に運営委託→ 奈義町住民の中から運営者を育成



奈義町 (人口6千人) の「生涯“総”活躍のまち」の経緯と系譜 (分析：五十嵐)



地域経済循環

○商店街と組み
制度を企画開発
・町内の各所で活動してポイントが貯まり、町内で使用可能
「ナギフト」

コーポラティブ型サ高住の事例（ゆいま〜る那須）



ゆいま〜る那須 ホームページより



「生涯活躍のまち」先行事例からみえてきたこと

多世代

アクティブシニアの移住
や住み替え

若い世代が住みやすさや子育てのしやすさ、やりがいのある仕事を求めて移住

企業が働き方改革や健康管理、人材育成戦略の一環として地方におけるリモートワークを試行・志向

多様性

活躍

障害をもった人も認知症高齢者も、子育てママも高齢者も役割・しごとがある

多様な人の中だからこそ、活躍の場がある（できる）

エリアの価値

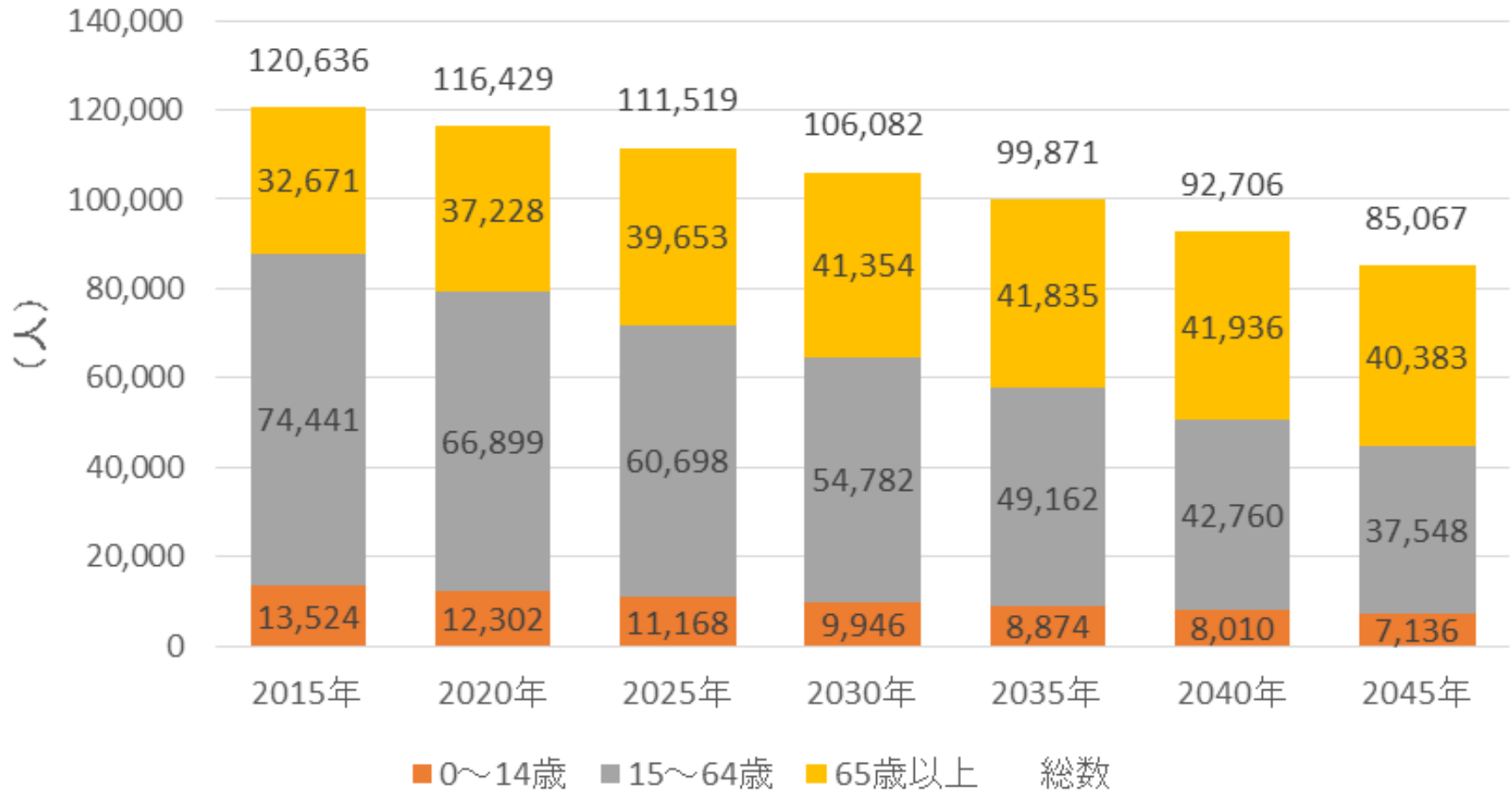
住まいの整備

エリアの価値、コミュニティの価値が人を呼ぶ

「生涯活躍のまち」推進の背景① 人口減少と高齢化・少子化

合計特殊出生率 = 1.08

2045年までの人口推計（江別市）



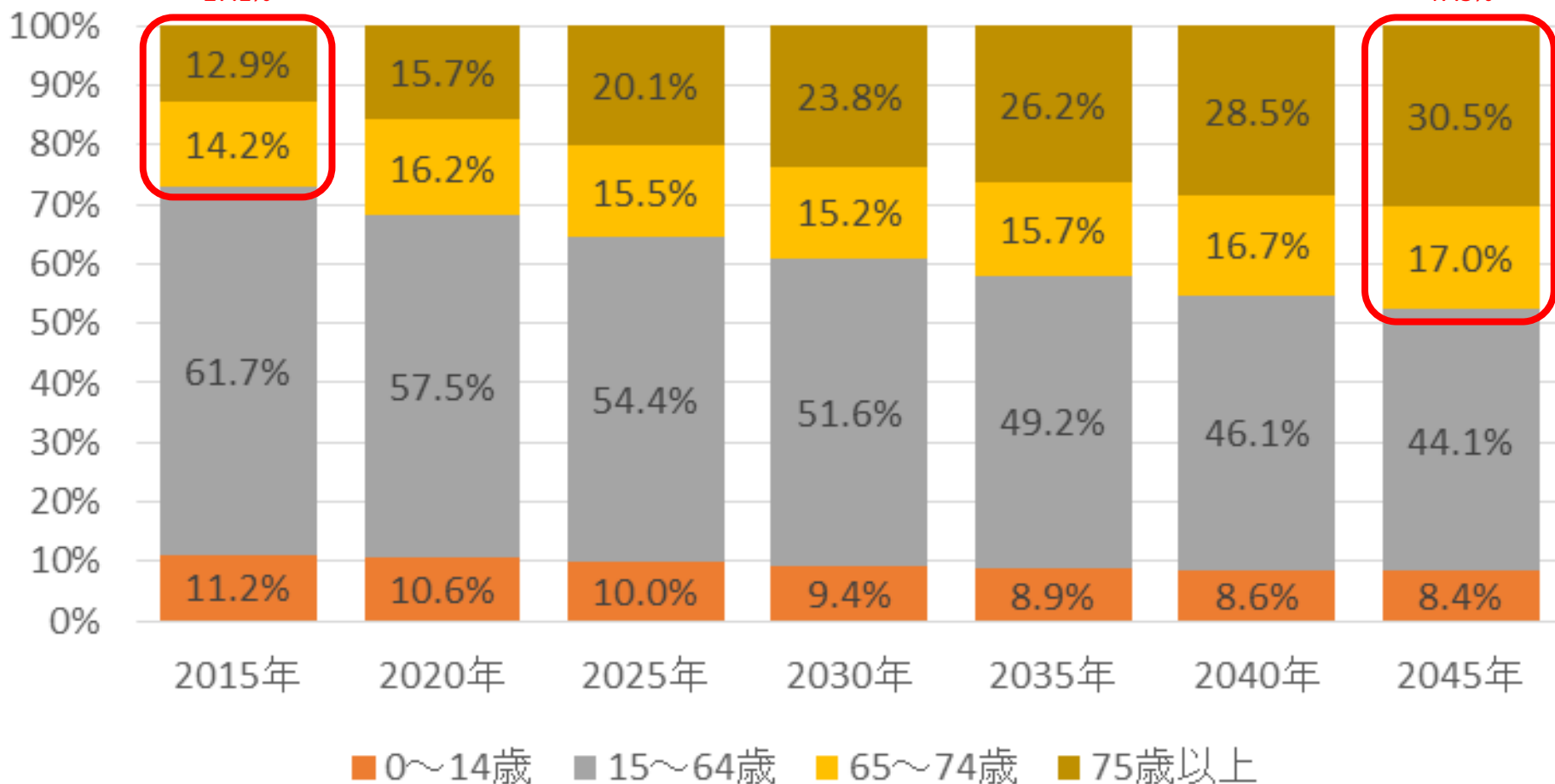
出典：「日本の地域別将来推計人口（平成30（2018）年推計）」（平成30年、国立社会保障・人口問題研究所）

「生涯活躍のまち」推進の背景② 後期高齢者の増加

2045年までの人口構成

2015年
高齢化率
27.1%

2045年
高齢化率
47.5%

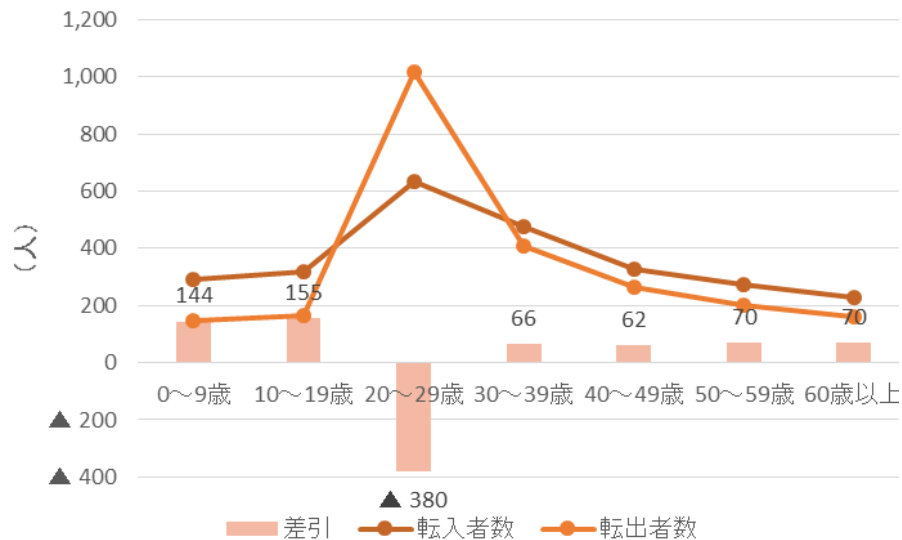


出典：「日本の地域別将来推計人口（平成30（2018）年推計）」（平成30年、国立社会保障・人口問題研究所）

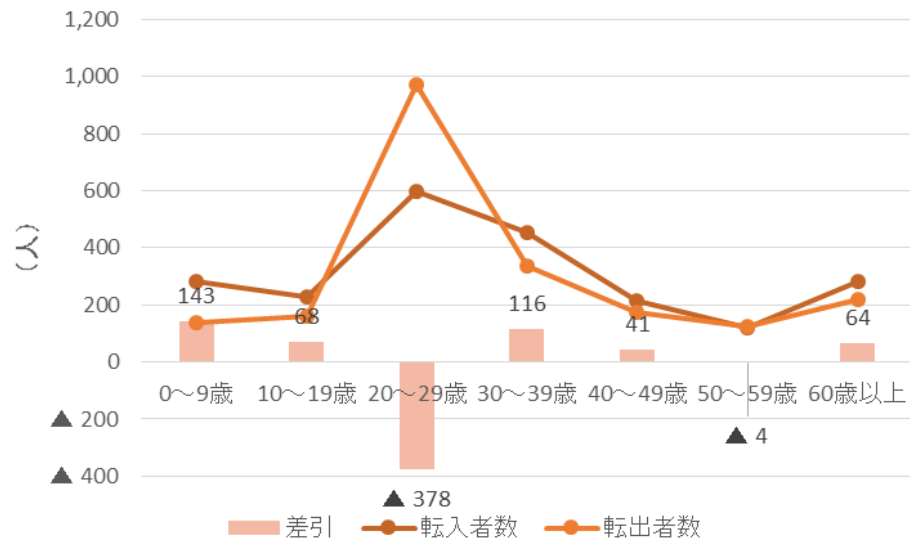
「生涯活躍のまち」推進の背景③ 人口の移動

- 男女とも、20歳代の転出超過が大きい。30歳代以降は転入超過。
- その半分近くが札幌への転出。江別市は、典型的なベッドタウン。
- 合計特殊出生率が超低水準（北海道のワーストは、札幌、江別、当別）であり、職場環境の改善とコミュニティ機能の強化が大きな課題。

江別市における人口動態(男性)



江別市における人口動態(女性)



1. 官民民連携（行政、事業者、住民）

- 目的志向、プロセス志向の連携
- 住民は「受け手」ではなく「担い手」

2. 「場」と「機能」と「しかけ」

- 建物と事業だけでは「活躍」できない
- 「まち」の空間と機能をデザインし、「しかけ」を埋め込む。
- 「しかけ」が重要。時間をかける。

3. 「生涯活躍のまち」からのアウトリーチ

- 「生涯活躍のまち」でやってみたいことを試行
- 「まち」の行動を市内の随所で始める